



# Good Response to Tolvaptan Shortens Hospitalization in Patients with Congestive Heart Failure

著者名	小暮 智仁
発行年	2018-01-19
URL	<a href="http://doi.org/10.20780/00032608">http://doi.org/10.20780/00032608</a>

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2988 号	氏 名	小暮 智仁
審 査 委 員 会	主 査 教 授	市原 淳弘	
<p>論文審査の要旨（400 字以内）</p> <p>本論文は、うっ血性心不全患者 92 名に対するバソプレッシンⅡ受容体拮抗薬トルバプタンの反応性と入院期間に与える影響について検討した、後向き観察研究である。トルバプタン反応群と非反応群を比較検討した結果、入院時の尿素窒素低値、血清レニン活性低値が独立した反応性の規定因子であり、投与初期反応良好例では ICU 入床期間、総入院期間の有意な短縮が確認された。</p> <p>トルバプタンは心不全に対する利尿薬として使用が増加しており、本論文は反応性と効果に関して示唆に富む成果を提示した。臨床における問題点を主題とし、適切な統計解析法を用いて厳格に結論を導き出した、有意義かつ公正な研究と考える。その一方で、バソプレッシン値や浸透圧値が測定されていれば、更に深い考察が可能であること、後向き研究としてのバイアスの存在、比較的少ない症例数など、改善が望まれる点も散見された。本研究を更に発展させた前向き研究の実施が期待される。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に医学部学務課へご提出下さい。（本学学会雑誌に公表）【学校教育法学位規則第 8 条】</p>			